

2011年度 ふいかえり号

2011年度の あんなこと、こんなこと

2011年度 ふりかえり号 2012年4月1日発行

～ 表紙で1年をふりかえり～



4月号 「大親友(ともだち)になれた日」
鈴木沙也果(渋谷中学校3年)

第2回「やまと子ども絵画大賞」入賞作品



5月号 「おとうと(ネコ)が来た日」
司削和果(西鶴間小学校4年)



6月号 「ぼくのカブトムシ記念日」
秋山拓己(緑野小学校1年)

第3回「やまと国際アートフェスタ」入賞作品



7月号 「夢にむかうバス」
森田愛海(南林間小学校)2年



8月号 「みんな大好き」
佐藤愛莉(北大和小学校2年)



9月号 「Mii Sueno (私の夢)」
ハゲイ・アケミ(大和中学校2年)

文字で表現する「文字絵」作品



10月号 「応援 共育 推進」
井上貴雄(夢現スタジオ代表)

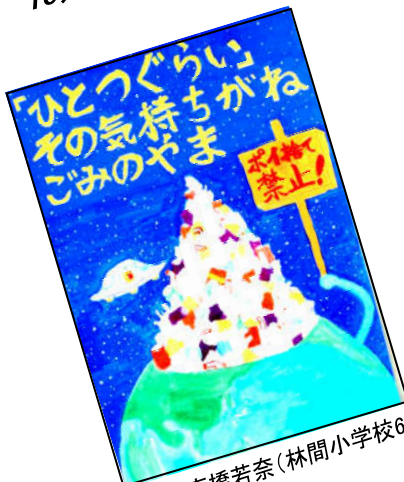


11月号 「拠点やまと」
井上貴雄(夢現スタジオ代表)



12月号 「市民活動センター」
井上貴雄(夢現スタジオ代表)

2011年度環境ポスター優秀賞作品



1月号 高橋若奈(林間小学校6年)



2月号 渡邊颯(西鶴間小学校3年)



3月号 嶋津のぞみ(深見小学校5年)

共育セミナー中心
でふりかえります。
By 帽子好きの
石川



4/20(水)の共育セミナー

「間違いだらけの健康常識」
～健康オタクは早死にする！？～

話し手:大野カズミさん
(サプリメントパーラー スーパーバイザー)

塩分と添加物、賢い選択が必要。
・減塩梅干しに使われる防カビ剤や防腐剤。
・菓子パンはカロリー過多のうえ、添加物がいっぱい。
(小麦粉改良剤の臭素酸カリウムやタル系色素には発ガン性がある)
放射線被曝の予防対策として、抗酸化酵素を体内で作り続けること。(抗酸化物質…ビタミンC、E、ベータカロテンなど)



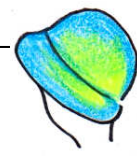
陽春の候

5/23(月)の共育セミナー

IT 実践講座第3弾
「パワーポイントを使って」
～プレゼンテーションも楽しく～

話し手:望月則男さん(「センター」スタッフ)

パワーポイントの作り方を「ファイルを開く」から「実際にスクリーンに映し出す」までのマニュアルを作成して配布。手順に従って PC 操作をした「くじらのしっぽ」の手塚さんは、「タイトルを強調」「動画を入れる」「文字や絵を動かす」などを実践。「私にもできました」と、楽しそうでした。



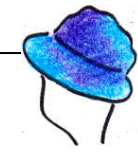
新緑の候

6/17(金)の共育セミナー

「一つになろう日本 in 大和」
～1日も早い被災地の復興を願って～

話し手:宇山 隆さん(大和青年会議所)

大和の地から被災地の復興の応援をしたいと、チャリティイベントを開催。73 万円の義援金が集まり、「やってよかった」と、話された。市民まつりが中止になって、パフォーマンスを予定していた団体から、「発表の場があってよかった」という声も聞かれました。



初夏の候

7/23(土)の共育セミナー

「映像とソーシャルメディアで地域の活性化」
～活動記録を映像で配信しませんか～

話し手:森 康祐さん、山田幻太さん
(湘南メディアネットワーク)

「第1回NPO映像祭」で入賞した作品『コミュニティバスは街づくり』を上映。西鶴間の「のりあい」の運行の様子が映し出された。セミナーの様子を YouTube で配信。改めて、映像の持つ力を確認。映像を使った活動報告ができれば、報告会がどんなにイキイキしたものになるか、期待がもてると思いました。



盛夏の候

3/23(金)の共育セミナー

「今どきの子育て、親事情」
～孤立しない子育てのために～

話し手:清水三和子さん(「大和さくら里親会」会長)
永井圭子さん(「NPO 法人ワークスコレクティブ
チャイルドケア」理事長)

里親に養育される子どもの 90%以上が虐待を受けていたという事実。大人を信じるのが出来なかった少女が、里親である清水さんの愛情を受けて、初めて信じる事ができたと、聞かされ、愛情いっぱい育てることの大切さを改めて実感しました。
永井さんからは、行政と児童相談所の狭間にいる親子に支援の手を、と日々活動している様子を聞きました。



早春の候

4/14(木)緊急共育セミナー

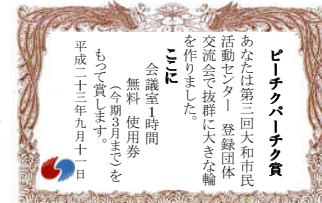
東日本大震災被災地からの緊急報告
「未曾有の大震災 あなたは何ができますか？」

被災地陸前高田市へ医薬品をはじめ、タオル、トイレトペーパー、紙おむつ、歯ブラシなどの日用品を届けた市民活動課の北島課長は、「一生分のありがとう」を言われた気がした」と報告。うどんとそばの炊き出しでは「気持ちがおいしい！」と言われたことなど、報告してくれました。
野菜を届けた「WE21ジャパン」の大上さんは「余震で心が折れそうになるが、自分たちのことを思ってくれていることがうれしい」と聞いて、支援のあり方を改めて考えることができた、報告された。

おおいに交流しました
第3回登録団体交流会

9/11(日)13:00～16:00 勤労福祉会館で開催。
全員参加でアイスブレイキング。

「月夜の晩に～突然出てきた○○○さん」
「ゲー・キョキ・パーで何つくろう～ 何つくろう～」
これで会場がひとつになりました。
恒例の名刺交換で、さらに盛上がりしました。
テーブルごとの話し合いのテーマは「このメンバーで何ができるか」
活動の可能性がひろがりました。



8/20(土)の共育セミナー

「五味さんのゴミひろい」

話し手:五味尚生さん
(引地川水とみどりの会)

引地川の下流から上流に向かって清掃をしていく。様々なゴミに会う。きちんと分ければ資源になるものばかり。「街がきたないと川が汚れ、海が汚れる」と聞いて、なるほどと納得。継続した活動に拍手。



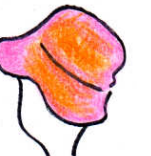
残暑の候

9/30(金)の共育セミナー

「こころのつながりをつくる簡単で面白いやり方」
～まず、お母さん自身の心のケアから～

話し手:手塚郁恵さん(「くじらのしっぽ」代表)

目を閉じて、呼吸を整えてから、「呼んでほしい名前、言ってほしい言葉」を聞くワークショップ。参加した人たちの感想を聞いて、話しかけ方、言葉の大切さを実感しました。(以下は感想)
・気持ちがやさしくなる感じがした。
・思わず、ニコニコしてしまった。
・大事にされている感じがした。
・待っていてくれる感じがした。
・励まされるような感じがした。
・幸せな感じになった。
・それぞれの人の心が感じられた。



初秋の候

2/23(木)の共育セミナー

「NPO で働くということ PART2」
～モヤモヤを減らしてスッキリ活動しよう！～

話し手:杉下由輝さん
(「さがみの国大和フィルムコミッション」副代表)

NPO は利益を分配してはいけないのであって、働くという視点にたつて、賃金を支払うことは自立につながる。買う＝使うという固定観念。買う＝プレゼントという発想をもつことの大切さを学びました。
「ゲストにハピネスを」という視点を持つこと。「物を売らない思いやり」のあることを知りました。



春寒の候

「あなたの国はどこですか？」
第7回国際交流フェスティバル

3/18(日)10:00～15:00 大和駅東側プロムナードで開催。

「あなたの国の国旗を描いてください。」
「難しく、くわしく描けないよ。」
「地図にシールを貼ってください。」
「ジンバブエはそこなの？」
「私は北朝鮮の在日3世です。祖国はひとつですから。」
と、韓国の国旗のところシールを貼った人など、いろいろな人との出会いがありました。



盛り上がった「カコーフェスタ」
～活かそうひろがりの“わ”～

11/5(土)、6(日)開催。
今年の特徴として、東日本大震災に対する支援活動をしている2団体が初参加。
各ブース“ガンバレ東北”の気持ちを込めてバザーや活動紹介をして、交流していました。

「おがみサークル」の皆さんが折ったおがみを「被災地富岡町にライトアップを！」のイベントや支援地のネパールやインドにもお届けしていただきました。

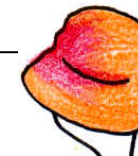


11/26(土)の共育セミナー

「引地川にトンボが戻ってきた！」
～継続した活動から見えてくるもの～

話し手:飯塚栄子さん
(柳とあそぼう引地川・とんぼ調査隊)

「三面張りコンクリート護岸」を壊して「自然蛇行の川」に戻した引地川に柳を植え、清掃活動をして魚や鳥、昆虫と遊べる“水と緑の引地川”にした継続活動に拍手が起きました。ハグロトンボの復活を確認した飯塚さんは、「川は人をつないでくれて、トンボは環境指標になっているんです。」と話しました。



晩秋の候

1/26(木)の共育セミナー

「NPO で働くということ PART1」
～言いたくても 言えない モヤモヤ～

話し手:関根孝子さん(「拠点やまと」会長)

“モヤモヤ”は「動機付け」や「達成感」の精神的なもの、「雇用契約」や「評価報酬」などの金銭的なもの、「履歴・背景」や「作業環境」などの属性的なものなどがあり、「私のところは、こんな問題が・・・」「私はこう考えますが・・・」など、活発な意見交換になりました。



新春の候

12/16(金)の共育セミナー

「おいしく食べて、
もっともっと大和市を知ろう」

大和産芋焼酎「和み」のプロジェクト責任者・前大和市農政課長から誕生秘話を聞いてから「乾杯！」
・大和の推奨品が 20 種類もあったんですね。
・「和み」はなかなかおいしいよ。
・宣伝が足りない。関係者はもっと PR しなくちゃ。
・市民活動センターに初めて来たよ。こんなに愉快なところは知らなかった。普段、何やってんの？



寒冷の候

10/17(月)の共育セミナー

「市民活動を通してなんでもプラス」
～手と手をつなぐ地域ネット～

話し手:今井 功さん(なんでもプラス地域ネット)

<人材ネットワークサービス、>
なんぶら農園、ぎんなん農園、雨水貯水タンク設置支援、スクールエコリユース、室内環境測定、庭の草取り、蛍光灯取替え、蛇口交換、包丁研ぎ、ガラス取替え、竹藪の伐採など。
<たまり場作り>
シネマサロン、なんでもサロン、ホームサロン、コーヒーショップ、酒まんじゅう作り、タオル帽子作り、ふれあいコンサートなど。



秋冷の候

速く、正確な情報をお届け

「センター」のホームページは「速い」をモットーに、情報をアップしています。特にFM やまと「大和市民活動センターだより『やまとっこ☆みつけた』」の内容は放送当日の午後に掲載し、聞く時間の取れない方のニーズに応えました。イベント・講座、助成金などの市民活動に役立つ情報はもちろん、『やまとっこ☆みつけた』を始めとした多彩な登録団体情報の発信に力を入れていますので、ぜひ情報をお寄せください。次年度も「速さ」を大切に、たくさんの情報をお届けします。



担当の中山

登録団体ファイルを活用してください

館内の登録団体ファイルが新しくなりました。団体のチラシや資料の他に、タウン紙掲載の団体記事もファイリングしています。分野別に色分けしたインデックスで、活動分野ごとの閲覧も可能です。ぜひ一度ご覧ください。



パーソナリティのジョニーさん



市民活動団体が[FM やまと]に生出演中



FM やまとの「大和市民活動センターだより『やまとっこ☆みつけた』」に、2011年の4/5から2012年3/20までの毎月第1、第3、第5火曜日に27団体のみなさんが生出演。活動現場の生き生きとした様子を伝えることができました。

まだまだ、続きます。出演希望の団体さん、連絡を待ってま～す。12月に5周年を迎えます。記念に冊子を発行する予定です。



担当の櫻井



「夏の思い出」の冊子を発行

中・高校生の夏のボランティア体験「このゆびとまれっ！」に参加し、ボランティア体験をした中・高校生は61人。それぞれの活動で感じたことを、感想文集『夏の思い出』にまとめました。ボランティア活動をすることで、人の喜びを自分の喜びと感ずることができる感性。人とつながることの大切さを実感できた若者たちにとって、学校生活では得られない貴重な体験として、これからの人生の指針の一助となることを願っています。

中学生ボランティア 2日間 4人
高校生ボランティア 11日間 57人



高校生が継続的にボランティア活動

延べ409人の高校生が、NPO法人ワン・ピースⅠ・Ⅱ、ピコピコ、WE21ジャパン、しんちゃんハウス、晃風園、大和市芸術文化振興会、引地川かわくんだり実行委員会、ふるさと やまと三事業推進委員会などでボランティア活動をしました。子どもたちと公園で遊んだり、ゲームをしたりお年寄りの話相手をしたり、ショップ内の整理、物品販売の手伝い、駅プロムナード花壇の水遣り、コンサートの準備受付などの活動を現在も継続的に行っています。

また、高校生のサポートや「登録団体交流会」「このゆびとまれっ！」「クリスマス会」などのイベントの手伝いに57人の大学生・大人の方々が参加してくれました。



さあ 何の数字でしょう？



*ヒート この1年間 大和市民活動センターで…

494回 1547時間

186回

コピー機の使用回数

94回 204時間

多目的ルームの予約回数と時間

133回

PCからの印刷回数

472回

高速印刷機の使用回数

ホップ、ステップ
ジャンプ！



イラスト：望月則男

「あの手この手」2011年度ふりかえり号 発行日・2012年4月1日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>

〒242-0021 大和市中央1-5-1

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

URL: www.kyodounokyoten.com